

事業報告書

まえがき

中小企業を取り巻く経営環境は、国の各種政策の効果や雇用・所得環境の更なる改善により景気は内需を中心に回復基調にあるものの、少子高齢化等に伴う国内市場の縮小、アジア新興国経済の景気の下振れや為替・原油の動向など、地域経済に影響を与える要因が多くあり、依然として厳しい状況が続いています。

当センターの事業運営に当たりましては、これらの社会経済環境の変化を踏まえ、県内産学官金39機関が結集する「とちぎ産業振興ネットワーク」の中核的支援機関としての機能強化を図り、県内中小企業の直面する課題の支援に努めて参りました。

具体的には、創業や経営革新の支援、地域資源の活用や農商工連携等による新商品・新サービスの研究開発助成、産学官金の連携、人材育成、情報化、販路開拓、知的財産活用などの各種事業を推進するとともに、「栃木県よろず支援拠点」による各種相談に対する対応強化を図りました。また、新たに「プロフェッショナル人材拠点事業」の受託にも取り組んで参りました。

この結果、平成27年度の事業計画は概ね達成できました。

今後とも栃木県をはじめ関係機関との連携を密にして、一層の企業支援に邁進して参ります。

各事業の実施状況につきましては、次のとおりです。

I 公益目的事業

(公1) 創業や新分野展開などの新事業の創出促進を図る事業

1 総合相談事業

相談対応は、マネージャー（県補助事業）及びよろず支援拠点のコーディネーター（国受託事業）等を配置し、中小企業の様々な経営課題の解決に向けて、きめ細かく総合的な相談窓口を設置運営した。

平成26年6月2日に設置した「よろず支援拠点」の相談体制を拡充整備するとともに、併せて「重点5分野」及び「フードバレーとちぎ」に関連する相談に重点を置いた支援を実施した。

相談体制については、マネージャー5名、よろず支援拠点コーディネーター7名体制で臨み、昨年度に比べ相談企業数、相談件数とも大きく伸ばした。

① 業種別相談企業数

	農・林	建設	製造	情報通信	運輸	卸	小売	宿泊飲食	生活サービス 娯楽	その他	計
マネージャー	56	11	351	4	0	11	8	20	42	49	552
コーディネーター	102	154	605	67	19	99	159	153	412	140	1,910
計	158	165	956	71	19	110	167	173	454	189	2,462
構成比(%)	6.4	6.7	38.8	2.9	0.8	4.5	6.8	7.0	18.4	7.7	100.0

② 相談内容別相談件数

	売上拡大	販路提案	施策活用	資金繰り	事業計画 策定	商品開発	経営改善 事業再生	創業	市場設定	その他	計
マネージャー	321	182	213	150	28	161	18	5	70	571	1,719
コーディネーター	1,000	293	219	129	316	119	222	231	54	1,297	3,880
計	1,321	475	432	279	344	280	240	236	124	1,868	5,599
構成比(%)	23.6	8.5	7.7	5.0	6.1	5.0	4.3	4.2	2.2	33.4	100.0

注：1 相談者の相談内容が複数分野にわたる場合もあるので、相談企業件数と一致しない。

2 「その他」は、現場改善、地域資源活用、海外展開、市場調査、事業連携、広報戦略、IT活用、経営知識、雇用・労務、事業承継、商品デザイン、知的財産、広報デザイン、法律、再チャレンジ、債権保全、廃業である。

2 新事業創出促進事業

(1) 起業化育成事業（県受託事業）

起業・創業の新たな芽を掘り起こすとともに、創業に踏み出す段階から経営が軌道に乗るまでの各段階に応じた支援を行った。

① 創業希望者の掘り起こし（個別相談）

起業化アドバイザーを1名配置し、産業支援機関等との連携により創業希望者を掘り起こすとともに、創業希望者からの幅広い相談に応じた。

【移動相談会】

開催月日	開催場所	相談者数	開催月日	開催場所	相談者数
5月18日	大田原商工会議所	6	11月26日	鹿沼商工会議所	2

5月20日	足利商工会議所	3	12月14日	大田原商工会議所	4
6月17日	足利商工会議所	3	12月15日	日光商工会議所	1
7月15日	足利商工会議所	8	12月16日	足利商工会議所	4
7月21日	大田原商工会議所	5	1月14日	真岡商工会議所	5
8月19日	足利商工会議所	3	1月18日	大田原商工会議所	3
8月26日	鹿沼商工会議所	2	1月20日	足利商工会議所	3
9月15日	日光商工会議所	3	1月22日	矢板市商工会	3
9月16日	足利商工会議所	4	2月17日	足利商工会議所	2
9月28日	大田原商工会議所	4	2月22日	大田原商工会議所	3
10月8日	真岡商工会議所	2	3月15日	日光商工会議所	3
10月21日	足利商工会議所	4	3月16日	足利商工会議所	2
10月26日	大田原商工会議所	2	3月18日	鹿沼商工会議所	4
11月16日	大田原商工会議所	3	3月22日	大田原商工会議所	3
11月18日	足利商工会議所	6			

○県内B I（ビジネス・インキュベート）施設等を巡回訪問した。 訪問件数 231件

② 創業希望者交流サロン

創業希望者を対象に交流会を開催するとともに、各種相談や事業計画作成支援を行った。

	開催月日	参加者数	開催内容
1	7月4日	35	・基調講演 ・ランチ交流会
2	7月11日	35	・女性起業家講演 ・創業の基礎知識 ・創業の手続き ・個別相談会
3	7月25日	33	・事業プランのたて方 ・ランチ交流会 ・マーケティング ・事業計画書の書き方
4	8月1日	33	・シニア起業家講演 ・公的機関の支援内容 ・税務、会計実務 ・個別相談会
5	8月8日	36	・アイデア発表会 ・ランチ交流会

③ 創業サポートアカデミー

創業を強く希望する者を対象に、ビジネスプランのブラッシュアップと中小企業診断士等の専門家による経営実務に関するアドバイスをを行った。

	開催月日	参加者数	開催内容
1	8月22日	10	・講義：経営ビジョン、経営戦略の構築
2	8月29日	10	・個別指導：ビジネスプラン作成
3	9月12日	8	・個別相談：ビジネスプラン作成
4	9月26日	8	・個別相談：ビジネスプラン作成
5	10月10日	8	・ビジネスプランのプレゼンテーション

④ 創業塾OBビジネス交流会

創業希望者交流サロン及び創業サポートアカデミー終了後の交流の場を提供し、人的ネットワークの構築及び創業意欲の向上を図った。

	開催月日	参加者数	開催内容
1	5月30日	15	・我が社を新聞社に売り込もう（26年度参加者）
2	12月5日	12	・27年度参加者による発足会・意見交換・個別相談
3	2月20日	20	・26・27年度参加者の合同による意見交換等

(2) ベンチャーオフィス連携強化事業（県補助事業）

県内の公共BI（ビジネス・インキュベート）関係者が連携し、各施設入居者を支援した

○A-BOX（足利市BI）に係る入居審査会 6回

○ベンチャープラザ那須烏山に係る入居審査会、運営委員会 2回

○とちぎBIネットワーク定例会の開催 11月25日

既存の6公共BI（宇都宮市、足利市、小山市、真岡市、那須烏山市、交流センター）に加え、国の創業支援事業計画認定を受けた10市町（大田原市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、矢板市、那須塩原市、下野市、壬生町、高根沢町）をメンバーに勧誘し開催した。

○とちぎBIネットワーク合同研修会の開催 12月25日

BuSiNeSt（ビジネスト）、ソーシャルインキュベーションオフィスSUMIDA視察

(3) ベンチャー中小企業等支援人材育成事業（県補助事業）

IM（インキュベーション・マネージャー）養成研修（日本立地センター）に職員を派遣した。

○派遣職員 1名

○スクーリング（前期） 10月7日～9日

○スクーリング（後期） 2月25日～26日

○OJT 12月10日～11日（実施場所：さがみはら産業創造センター）

(4) 市場展開支援事業（県補助事業）

販路開拓の実務経験を有する商社OB等が構成するNPO法人と連携し、取引先の紹介や市場展開に関する相談会（無料）を開催した。

開催月日	開催場所	相談企業数
6月5日	産業交流センター	7
11月26日	産業交流センター	5

(5) 企業OB活用メンターグループ事業（県補助事業）

研究開発や経営に関する豊富な経験を有する企業OBをメンターとして登録し、中小企業が抱える様々な課題に対し、現場においてアドバイスや指導を行った。

登録メンター数（名）	派遣先企業数、派遣日数
76	37社、354日

① 業種別派遣企業数

	製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他	計
企業数	23	4	2	1	5	2	37
構成比 (%)	62.2	10.8	5.4	2.7	13.5	5.4	100.0

② 課題別派遣企業数

	生産	技術	開発	販路	経営	人材	その他	計
企業数	17	2	4	6	3	3	2	37
構成比 (%)	46.0	5.4	10.8	16.2	8.1	8.1	5.4	100.0

(6) 専門家派遣事業 (県補助事業)

中小企業診断士等の専門家を要請に応じて派遣し、診断・助言を行った。

○派遣先企業数、日数 12社、45日

① 業種別派遣企業数

	製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他	計
企業数	8	0	1	1	2	0	12
構成比 (%)	66.7	0.0	8.3	8.3	16.7	0.0	100.0

② 課題別派遣企業数

	生産	技術	開発	販路	経営	人材	その他	計
企業数	2	2	2	0	4	1	1	12
構成比 (%)	16.7	16.7	16.7	0.0	33.3	8.3	8.3	100.0

(7) 中小企業応援キャラバン事業 (県補助事業)

中小企業の相談に応じるため、県内各地域に相談チーム (中小企業応援キャラバン) を派遣した。

	派遣機関	派遣月日	参加者数		派遣機関	派遣月日	参加者数
①	茂木町雇用対策協議会 (茂木町)	5月14日	15	⑥	栃木信用金庫本店 (栃木市)	7月16日	5
②	鹿沼商工会議所 (鹿沼市)	5月18日	15	⑦	県商工会連合会 (宇都宮市)	7月23日	56
③	県信用保証協会 (宇都宮市)	6月4日	41	⑧	県商工会連合会 (宇都宮市)	8月26日	48
④	県商工会連合会 (宇都宮市)	7月14日	54	⑨	県商工会連合会 (宇都宮市)	9月4日	35
⑤	栃木信用金庫藤岡支店 (栃木市)	7月15日	4	⑩	大田原商工会議所 (大田原市)	2月2日	57

(8) 産業振興ネットワーク事業 (県補助事業)

振興センターを中核的支援機関として、平成27年6月から新たに2機関 (独立行政法人日本貿易振興機構栃木貿易情報センター、栃木県事業引継ぎ支援センター) を加え、産学官金39の支援機関相互の情報交換及び各部会による具体的な支援活動を実施した。

会議名	開催日	内 容
全体会議	7月3日	・設置運営要綱の改正、H26年度各支援機関の事業実施状況 ・事業引継ぎ支援センター事業、ジェト栃木貿易情報センター事業 ・地域プラットフォームに対する支援
	3月18日	・新市場創造型標準化制度、地域プラットフォームの実施状況 ・H28年度支援機関の事業実施計画（案）
創業支援部会	8月8日	・事業アイデア発表会（創業希望者交流サロン）
技術開発支援部会、 販路開拓支援部会	11月12日	・支援制度活用・産学交流セミナー（県央地区）
	11月19日	・支援制度活用・産学交流セミナー（県北地区）
	12月3日	・支援制度活用・産学交流セミナー（県南地区）
	2月18日	・国、県、振興センターの支援制度説明会
資金調達支援部会	10月10日	・ビジネスプランプレゼンテーション（創業サポートアカデミー）

3 産業活力推進事業

(1) とちぎ未来チャレンジファンド活用助成事業

「とちぎ未来チャレンジファンド（25億円）」の運用益により、中小企業者等が行う新商品開発や販路開拓等の事業に要する経費の一部を助成した

① 創業・新事業展開推進事業

中小企業者等が行う地域社会と密接に関わる商業・サービス業等の創業や新たな事業展開に要する経費の一部を助成した。

・採択状況（審査会：7月6日、交付決定：8月3日）

No.	企業名	事業区分	事業名称	交付決定額(千円)
1	6月の森農業生産法人ブルーベリーファーム(株)	地域資源活用 スタートアップ事業	美味しく健康機能性に優れた大麦ブルーベリーシフォンケーキの開発	2,000
地域資源活用スタートアップ事業 計			1件	2,000
2	Gridraw 石田祐介	創業支援事業	セル方式描画ソフトウェアの開発販売事業	1,500
3	とちぎ農業ネットワーク企業組合	創業支援事業	地域農業の6次産業化(商品開発・マーケティング・販路開拓)を応援する企業組合事業	1,003
4	ガチャマンラボ(株)	創業支援事業	地場繊維会社の在庫生地利活用に向けた実行環境構築事業	1,500
創業支援事業 計			3件	4,003
5	(株)小林縫製工業	経営革新支援事業	昇華転写プリント可能な人肌に優しいインナー用高付加価値素材(仮称:トリプル	2,000

			リバーシブルテック)の実用化に向けた開発	
6	(有)川喜田製作所	経営革新支援事業	24H 無人運転を可能とする加工治具の設計・製作	1,523
7	(株)セイホウ	経営革新支援事業	働く女性の応援関連商品の試作開発と展示会等への出展事業	1,156
8	こいしや食品(株)	経営革新支援事業	試作開発した「豆腐チョコ」をバラエティ機能性食品としてブランド化し、展示会出展等の販売促進事業	1,442
経営革新支援事業 計			4 件	6,121
9	黒磯観光協会	商店街・温泉街の活性化事業	板室温泉活性化再生プロジェクト事業	1,433
10	鹿沼商工会議所	商店街・温泉街の活性化事業	商業者による日光例幣使・古峰ヶ原街道スポーツタイプ自転車回遊性向上事業	1,800
商店街・温泉街の活性化事業 計			2 件	3,233
創業・新事業展開推進事業 計			10 件	15,357

② 特定振興産業分野助成事業

特定振興産業協会またはフードバレーとちぎ推進協会の会員中小企業等が行う新技術・新製品開発や販路開拓等に要する経費の一部を助成した。

・採択状況（審査会：7月6日、交付決定：8月3日）

No.	企業名	事業区分	事業名称	交付決定額(千円)
1	富士発條(株)	技術高度化助成事業 【食品】	「野蚕の機能性解明及びその機能性に着目した那須ブランド健康食品・サプリメントの開発」	1,653
2	応用電子工業(株)	技術高度化助成事業 【医療機器】	80mm以上の長さがある注射針に対応した「針刺し事故防止安全装置付き注射針」の開発	5,000
3	(株)ソフトシーデーシ	技術高度化助成事業 【医療機器】	「脳活動量測定装置による安全運転管理市場の獲得」	3,000
4	(株)PROPRE	技術高度化助成事業 【環境】	日光杉間伐材を使用したキャンドル用芯材の研究開発および販売	2,885
技術高度化助成事業 計			4 件	12,538

5	すがたかたち 高橋 牧子	販路開拓助成事業 (展示)【環境】	「店舗・施設建築展 2015」 への出展	1,118
6	オプトウェア㈱	販路開拓助成事業 (展示)【光】	国際画像機器展 2015 出展 による新規顧客開拓	539
7	㈱アイファ電気商会	販路開拓助成事業 (展示)【航空宇宙】	システムコントロールフ ェア 2015 出展による販路 開拓	706
8	㈾さくら食品	販路開拓助成事業 (展示)【食品】	Japanese Foods “Premium ” Trade Fair in Hong Kong への出展	1,480
9	㈱バンテック	販路開拓助成事業 (展示)【環境】	イタリアで開催される冷 凍空調関連の展示会への 出展及び販路開拓 Mostra Convegno Expocomfort 2016 (MCE)	1,500
10	㈱野州たかむら	販路開拓助成事業 (展示)【食品】	「スーパーマーケットト レードショー2016」出 展による自社オリジナル 商品の販路開拓	847
11	㈱TANOI	販路開拓助成事業 (展示)【自動車】	「第6回クルマの軽量化 技術展」出展による、自動車 業界の非鉄(アルミ/チタ ン/樹脂等)部品採用増に 対する販路開拓	996
12	大和樹脂㈱	販路開拓助成事業 (展示)【医療機器】	「MEDTEC Japan 2016」出 展による販路開拓事業	1,500
13	㈱スズキプレシオン	販路開拓助成事業 (展示)【医療機器】	MD&M WEST (エムディー アンドエム ウェスト) 展示会出展	1,073
販路開拓助成事業 計			9 件	9,759
特定振興産業分野助成事業 計			13 件	22,297

③ 現場改善講師派遣事業

特定振興産業協議会またはフードバレーとちぎ推進協議会の会員中小企業に日産自動車㈱の専門員を派遣し、生産管理等に関する現場改善指導を行った。

No.	企業名	区分	開始 年度	改善テーマ	派遣 回数
1	(株)サカエ工業		H25	お客様に喜びと驚きを与えるものづくり工場への進化	1
2	(株)マツモトセイコー			生産性改善	1
3	(株)共栄デザイン			製造プロセス改善による生産性向上	2

4	イトウ工業(株)	継 続	H26	ISO 取得に向けた作業環境の改善	2
5	三益工業(株)			民間航空機部品生産現場の改善	12
6	(株)ユーキャン			改善手法の全社への導入及び定着による収益力の強化・競争力の向上	11
7	(有)青柳製作所			作業効率の改善	12
8	(有)小林製作所			業務改革	12
9	クリエイトパックス(株)	新 規	H27	2S〔整理・整頓〕	11
10	(株)関東農産			各4工場(水稻培土・園芸培土・有機肥料・新培土)の生産ラインの効率向上及び省エネ対策	10
11	(株)アール・ティー・シー			新規マーケット拡充に伴う製造ラインの構築と技量スキルアップ	11

○派遣企業数 11社(新規3社、継続8社)

○派遣回数 85回

④ 海外ビジネスセミナー開催事業

別 掲(15 海外ビジネス支援事業)

⑤ 展示会出展事業(一部新規)

全国規模の展示会へ出展することにより、地域資源を活用した商品や高度な加工技術等の効率的・効果的な販路開拓を支援した。

ア○展示会名 第19回機械要素技術展(新規)

○開催場所 東京ビッグサイト

○開催月日 6月24日～26日

○出展者数 27者

イ○展示会名 第80回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2015

○開催場所 東京ビッグサイト

○開催月日 9月2日～4日

○出展者数 13者

4 地域需要創造型等起業・創業促進事業(国受託事業)

新たな需要を創造する新商品・サービスを提供する事業に対する国庫補助事業執行の地方事務局として、申請受付から交付額確定まで一連の事務を処理した。

事業区分	事業実施状況(25年度補正分)				
	交付決定 件数	交付決定額	辞退件数	支払 確定件数	支払 確定額
創 業	43件	85,255千円	4件	39件	70,955千円
第二創業	1件	2,000千円	0件	1件	1,900千円
計	44件	87,255千円	4件	40件	72,855千円

5 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業（国受託事業）

「栃木県よろず支援拠点」として専門コーディネーターを配置し、県内中小企業のニーズに応じたきめ細やかな相談への対応と総合的サポートを行うとともに、支援機関等の連携推進を図った。また、個別具体的な経営課題に対応する専門家を派遣する国の支援ポータルサイト「ミラスポ」も活用し、一貫した経営支援を行った。

- コーディネーター 1名
- サブコーディネーター 6名
- 事務担当 1名
- 相談支援状況

相談対応状況	区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	相談者数（名）	134	142	139	163	119	148	176	157	169	189	173	201	1,910
	来訪者数（名）	112	110	104	133	83	105	125	120	131	137	128	167	1,455
	相談件数（件）	287	292	285	337	235	299	351	312	341	382	349	410	3,880
支援 内 訳	1. 総合的・先進的経営アドバイス	233	224	209	251	179	236	259	229	272	311	273	308	2,984
	①強みを伸ばす来訪型売上拡大支援	117	120	103	139	106	136	138	101	128	147	158	194	1,587
	②高度な案件（事業再生・経営改善等）	11	9	20	19	10	32	30	23	15	15	16	18	218
	③その他（広告戦略・創業・IT活用等）	105	95	86	93	63	68	91	105	129	149	99	96	1,179
	2. チーム編成等支援	0	2	0	1	0	1	1	0	1	0	0	2	8
3. ワンストップサービス	54	66	76	85	56	62	91	83	68	71	76	100	888	

○各支援機関等連携強化

- ・県内5プラットフォームとの連携強化のため、担当者との情報交換会を開催。
（5月8日、3月3日）
- ・県内5プラットフォーム及び認定支援機関との連携事業として、各種セミナーを開催。
（19回、参加者数延べ711人）

○サテライト拠点の開設

- ・「宇都宮オリオン通りサテライト出張相談所」
開設日：10月24日（毎週木曜日、土曜日）

6 フードバレーとちぎ推進事業

（1）フードバレーとちぎ農商工ファンド活用事業

「フードバレーとちぎ農商工ファンド（25億円）」の運用益により、中小企業者と農林漁業者との連携体による新商品開発や販路開拓等及び農商工連携支援機関が行う農商工連携の取組を支援する事業に要する経費の一部を助成する。

- ・採択状況（審査会：7月13日、交付決定：7月21日）

No.	企業名	事業区分	事業名称	交付決定額（千円）
1	㈱野州たかむら 石河智舒	新商品等開発支援事業	茂木産ゆずを活用したフルーツ・ロリポップ（棒付きキャンディ）の試作開発	4,618
2	㈱こめよし	新商品等開発支援事業	県産のもち米とトマトを使った簡単調理のもちピザの開発	4,461

	岡田農園			
3	(株)相良酒造 井上農園	新商品等開発支援事業	栃木県産の梨を使用した「梨リキュール」の試作開発	5,000
4	米山そば工業(株)、 渡辺茂	新商品等開発支援事業	栃木県産高品質そばの製粉加工技術の開発	3,796
5	(株)東京フード もとざわ農園	新商品等開発支援事業	栃木産2020TOKYO向け！革新的なダブル認定「夢の干し芋」の商品開発事業	2,544
6	(有)荒井農園、(株)川 田農園	新商品等開発支援事業	ナイフとフォークで食する新感覚デザート「いちご丸ごとシャーベット」の新商品の開発プロジェクト	1,009
7	Sunフーズ(株) 加藤英雄	新商品等開発支援事業	小山産の規格外・高糖度にんじん(ひとみ五寸)を使ったドレッシングの開発	1,305
8	(株)白相酒造、両毛 酪農協同組合	新商品等開発支援事業	栃木県産を用いた美味しいヨーグルトリキュール(麦焼酎ベース)の開発	4,876
9	マルウチ食品産業(株) 長谷川農場	新商品等開発支援事業	栃木県産大麦、米粉を用いた美味しい大麦団子の開発	2,856
10	(株)大麦工房ロア 長谷川農場	新商品等開発支援事業	機能性成分の高い二条大麦ビューファイバーと地元産の農作物を活用した農作物加工品の商品開発	1,462
11	平山實 (株)ジョイア・ミア ア・ガーデン	新商品等開発支援事業	那須地域で栽培されているパン用小麦「ゆめかおり」の全粒粉パンの新商品開発	1,107
12	(株)タカサゴ、荒牧 りんご園	新商品等開発支援事業	「完熟林檎のタレに漬けた栃木県産牛肉」を「ゆめかおりパン」で包んだ「夢香るおやき」の開発	3,036
13	(株)横倉本店 鳳鸞酒造(株) 床井柚子園 荒牧りんご園	新商品等開発支援事業	栃木の果物づくし「ノンアルコール・カクテル～柚子・林檎・苺～」の開発	2,100
新商品等開発支援事業 計			13件	38,170
14	(株)横倉本店 金田果樹園 荒牧りんご園 宇都宮ブルワリー(株)	販路開拓支援事業	栃木県産果物果汁を用いた栃木県産フルーツビール商品の販路開拓	1,438
15	笠原産業(株)、早乙 女正司、渡辺正行	販路開拓支援事業	栃木県産小麦イワイノダイチを使用した商品の販売促進のための販路開拓事業	1,834
販路開拓支援事業 計			2件	3,272
16	(公財)栃木県農業振興公社	農商工連携支援機関事業	①新農業ビジネス創出支援事業 ②販路拡大支援事業	285
17	(一社)栃木県食品産業協会	農商工連携支援機関事業	①和食文化盛り上げ隊推進事業 ②農産物原料安定供給体制整備事業	614
農商工連携支援機関事業 計			2件	899
合計			17件	42,341

(振興センター事業)

事業名	事業内容	出展企業数	商談件数	事業費
アグリフードEXPO2015	8月18日～19日	7社	59件	694
スーパーマーケットトレードショー2016	2月10日～12日	5社	60件	1,245

○補助事業完了後の検査及び交付額確定事務

○第50回スーパーマーケットトレードショー2016 出展 (農商工連携支援機関事業として)

(2) フードバレー「売れる」商品づくり支援事業 (県受託事業)

新商品の企画段階から商品化、販売に至るまで、食品流通の専門家のアドバイスや講習会を開催することにより、「売れる」商品づくりを支援する。

① 無料相談会

・(株)バイヤーズ・ガイドの専門家が商品の目利きと相談を行う。

	第1回	第2回
開催月日	6月29日	10月8日
相談企業数	15	15

② 講習会

・無料相談会で講習会へ選別された事業者や別途申込をした事業者を対象に、商品開発能力の向上や販路開拓に係る知識の底上げを図る。

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
開催月日	7月22日	8月31日	9月30日	11月26日	12月17日	1月28日
参加者数	16	46	33	31	27	33

③ 個別支援

・継続支援可能商品について商品のブラッシュアップと販路開拓アドバイスを実施

	1クール			2クール		
	第1回	第2回	第3回	第1回	第2回	第3回
開催月日	7月22日	8月31日	9月30日	11月26日	12月17日	1月28日
相談企業数	11	12	11	9	12	14

④ 販売実践商談会

・個別支援参加企業とスーパーマーケット等4社のバイヤーによる商談を実践する。

	第1回	第2回
開催月日	10月29日	2月25日
相談企業数	10	13

(3) フードバレー販路開拓支援事業 (県受託事業)

全国に向けて県産品の販路開拓・拡大を図るため、東京圏において開催される大規模展示商談会への出展を支援する。(県受託事業および、振興センターがフードバレーとちぎ農商工ファン活用支援機関事業として実施する。)

○出展企業の募集 (7月)

○出展者決定 (8月)

24者 (内訳) 県受託枠18社、ファン枠5社、林業振興課枠1団体

○展示会名 第50回スーパーマーケットトレードショー2016

○開催時期 平成28年2月10日～12日

○会場 東京ビッグサイト

○出展者数 24者（内訳）県受託枠18社、ファンド枠5社、林業振興課枠1団体

	2月10日(水)	2月11日(木)	2月12日(金)	合計
来場者数(名)	34,488	25,028	31,002	90,518
名刺交換枚数(枚)	840	828	767	2,435
商談件数(件)	140	139	128	407
見積依頼件数	207	237	156	600

(4) とちぎフードイノベーション推進事業（国補助事業）

①事業の名称

<イノベーションシステム整備事業>

地域イノベーション戦略支援プログラム（研究機能・産業集積高度化地域）

「とちぎフードイノベーション戦略推進地域」

②事業の実施内容

大学等の知のネットワーク構築

平成26年8月に、公益財団法人 栃木県産業振興センターに「とちぎフードイノベーション推進室」を設置し、プロジェクト・ディレクターの指示の下、平成27年度は地域連携コーディネーターおよび実用化促進コーディネーターの2名で以下の活動を行った。

ア 知のネットワーク構築

- ・「全国コーディネート活動ネットワーク」（文部科学省産学連携支援事業）への登録
平成26年8月時点：栃木県登録コーディネーター4名
平成28年3月現在：同9名（非公開希望者3名含まず）
- ・「食品研究者等データベース」への登録
平成26年8月時点：栃木県登録研究者5名、食品加工研究者3名、地域素材5件
平成28年3月現在：同15名、同6名、同10件
- ・セミナー開催
平成27年8月21日：栃木県の伝統野菜・伝統食品ブランド化セミナー
農協、県市、農業事務所、食品企業などから、102名が参加。
- ・展示会
 - (i) 日時：平成27年9月11日：宇都宮大学／企業交流会
場所：マロニエプラザ（宇都宮市）
宇都宮大学の研究者が出展し、プロジェクトの成果を報告、紹介した。
 - (ii) 日時：平成27年11月18-20日：農林水産省／アグリビジネス創出フェア
場所：東京ビッグサイト（東京）
とちぎフードイノベーション推進協議会としてブース出展。
会期中の交流が基になり、共同研究が成立した（凸版印刷(株)と宇都宮大学）。
 - (iii) 日時：平成28年1月19日：足利銀行／食と農の展示商談会
場所：マロニエプラザ（宇都宮市）

(公財) 栃木県産業振興センターとしてブース出展。プロジェクトの成果を報告、紹介した。

・研究交流会

日時：平成 27 年 9 月 8 日

場所：宇都宮大学 農学部 大会議室（宇都宮市）

栃木県内の主要研究機関の研究者を集め、研究交流会を開催。各研究者の研究内容の発表を行い、お互いの認識を深める効果があった。参加研究者は宇都宮大学農学部を中心に、帝京大学、獨協医科大学、小山高専、栃木県農業試験場、同いちご研究所、栃木県産業技術センターなどから 35 名。秘密保持契約に署名いただき、クロージングの会とした。

・成果報告会

日時：平成 28 年 3 月 18 日、

場所：栃木県総合文化センター／特別会議室

事業開始（平成 26 年 8 月）から平成 27 年 3 月までの成果をまとめて発表した。

参加者は、とちぎフードイノベーション推進協議会・会員を中心に 106 名。

イ 研究支援

各研究者が研究に使用するイチゴ試料の選定、入手（5 回）、運搬や、宇都宮大学を含む栃木県内の研究機関を訪問し、プロジェクトの概要を説明し、協力を依頼。

ウ 創業支援

- ・文部科学省 START 事業で平成 26 年 10 月 31 日に設立された(合)工農技術研究所（宇都宮大学）が、平成 27 年 12 月 2 日に「アイ・イート株式会社」に改組された（宇都宮市、社長：寺門 孝）。
- ・平成 27 年 10 月まで、実用化促進コーディネーターとして在籍された矢嶋 信浩氏が、平成 28 年 2 月 23 日に「マイメタゲノム株式会社」（東京、社長：矢嶋 信浩）を設立。

エ 競争的資金応募支援

- ・農林水産省／平成 26 年度補正予算「農林水産業におけるロボット技術開発実証事業（研究開発）」
「イチゴの高品質出荷を実現する分散協働型収穫ロボットシステムの開発」
宇都宮大学：尾崎教授、柏寄准教授、他 ⇒ 採択（3,900 万円、1 年間）
- ・農林水産省／平成 26 年度補正予算「農林水産業の革新的技術緊急展開事業」
「日本産超高品質大型完熟イチゴの世界展開を可能にする可食部非接触流通体系の開発」
宇都宮大学：柏寄准教授、尾崎教授、他 ⇒ 採択（1,000 万円、1 年間）
- ・農林水産省／平成 27 年度「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」
「シーズ創出ステージ・一般型 A タイプ」
「耐病性向上および根寄生雑草防除に活用するための菌根菌共生最適化技術の開発」
宇都宮大学：米山教授、他 ⇒ 採択（5,000 万円、3 年間）

- ・農林水産省／平成27年度「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」
「シーズ創出ステージ・重要施策対応型」
「イチゴの遺伝子解析用ウイルスベクターの構築と利用技術の開発」
宇都宮大学：夏秋教授、他 ⇒ 採択（2,000万円、3年）

オ 各種会議開催

- ・とちぎフードイノベーション推進協議会／総会

日時：平成27年6月17日

場所：栃木県庁

平成26年度活動報告、決算と平成27年度活動計画、予算を審議、承認。

また、従来の11会員に加え、新たに（一社）栃木県食品産業協会、（公財）栃木県農業振興公社、（一社）とちぎ農産物マーケティング協会の3団体の加入を承認した。

- ・外部評価委員会 1回 （日時：平成27年3月18日）
- ・研究者交流会 1回 （日時：平成27年9月8日）
- ・事務局会議 9回 （平成27年4月23日、5月27日、6月17日、7月28日、8月26日、10月30日、12月15日、平成28年1月27日、2月16日）

プロジェクト全体の方針を審議する会議であり、その他、前月の活動状況の確認と次月の活動計画を審議、決定。

事務局会議メンバー：

伊藤 勤：（公財）栃木県産業振興センター 嘱託、プロジェクト・ディレクター

樋口 正幸：栃木県 産業労働観光部 産業政策課 産業戦略推進室 フードバレーチーム 副主幹

法師人 昇：栃木県 農政部 農政課 農政戦略推進室 副主幹

夏秋 知英：宇都宮大学 副学長、農学部 教授

山根 健治：宇都宮大学 農学部 教授、バイオサイエンス教育研究センター長

吉澤 史昭：宇都宮大学 農学部 教授

矢ヶ崎 一三：宇都宮大学 バイオサイエンス教育研究センター 特任教授

関 昌則：JA全農とちぎ 管理部 総合販売企画課 課長

船生 和孝：JA全農とちぎ 管理部 総合販売企画課 調査役

矢嶋 信浩：（公財）栃木県産業振興センター 実用化促進コーディネーター（～10月）

眞田 松吉：（公財）栃木県産業振興センター 実用化促進コーディネーター（11月～）

小森 剛：（公財）栃木県産業振興センター 総合支援部 総合相談課 副主幹

小出 和之：（公財）栃木県産業振興センター 地域連携コーディネーター

カ 企業訪問

本プロジェクトの紹介、相手先の状況調査、及び今後の協力依頼のため、実用化促進コーディネーターが、県内の主要食品関連企業を訪問し、データベース化を進めた。

キ 額の確定調査

平成27年6月9日、文部科学省による「額の確定調査」が宇都宮大学 農学部で実施された。

7 とちぎ産業振興プロジェクト推進事業（県受託事業）

重点5分野関連の県内中小企業の販路拡大と技術力向上を促進するため、大手企業における技術展示商談会を開催した。

○ものづくり企業マッチング事業

開催月日	開催場所	参加企業数
9月9日	古河産機システムズ㈱	4社

○新技術・新工法展示商談会 in TOYOTA

開催月日	開催場所	出展企業数
3月10～11日	トヨタ自動車㈱ サプライヤーズセンター（愛知県）	40社

8 インキュベート・研究開発室運営事業（県補助事業）

創業や研究開発に係る初期負担の軽減を図るため、一定の条件を満たす企業を対象にして、とちぎ産業交流センターのインキュベート・研究開発室の賃借料の一部を助成する。

○助成企業数

4月～8月	9月
1社、1室	2社、2室

○助成企業名

エスジーエムテック㈱（プラスチック成形業）

ワイエフノイズ一級建築士事務所（省エネルギー住宅の設計・開発）

（公2）中小企業の経営革新等に関する諸事業

9 情報化支援事業（県補助事業）

中小企業が必要とする経営・技術情報の提供及び情報化への対応を支援した。

○メールマガジンの発行 1,560社に対して月2回発行 54,427件

○ホームページの管理運営 センター各部各課から支援情報を随時更新 アクセス件数61,579件

10 研修事業（一部県補助事業）

県内中小企業の人材育成を支援するため、経営管理、生産管理、後継者育成等に関する各種研修事業を実施した。

（1）経営力強化研修

No.	講座名	日数	開催月日	定員	受講者数
1	経営実務研究会	2	7月15日 8月3日	50	30
2	経営戦略講座	1	9月1日	50	30
3	IT活用支援研修	1	10月20日	30	19
4	中小企業会計啓発・普及セミナー	1	2月17日	20	21

(2) 生産性向上研修

No.	講座名	日数	開催月日	定員	受講者数
1	製造現場の体質改善・意識改善セミナー	1	6月4日	30	14
2	原価管理とコストダウンの実践	2	6月23、24日	30	25
3	製造現場のムダ排除の実践	1	7月22日	30	21
4	購買原価革新セミナー	2	7月30、31日	30	14
5	品質改善実習セミナー	2	9月15、16日	30	30
6	実践5Sの進め方	2	10月22日 11月19日	30	35
7	実践5Sの進め方	2	2月4日 2月26日	20	15
8	ISO9000 内部監査員養成講座①	2	7月28、29日	30	28
9	〃 ②	2	8月25、26日	30	30
10	〃 ③	2	9月8、9日	30	32
11	〃 ④	2	10月6、7日	30	30
12	〃 ⑤	2	10月27、28日	30	29
13	〃 ⑥	2	11月10、11日	30	30
14	ISO14001 内部環境監査員養成講座①	2	7月9、10日	30	29
15	〃 ②	2	8月6、7日	30	24
16	〃 ③	2	9月3、4日	30	25
17	〃 ④	2	10月15、16日	30	30
18	〃 ⑤	2	11月5、6日	30	26

(3) 能力開発研修

No.	講座名	日数	開催月日	定員	受講者数
1	知的財産管理技能検定受検対策セミナー①	2	5月26、27日	20	中止
2	知的財産管理技能検定受検対策セミナー②	2	10月1、2日	20	中止
3	知的財産管理技能検定受検対策セミナー③	2	2月2、3日	20	中止
4	セールスマネージャー能力開発講座	1	9月29日	50	39
5	ストレスマネジメントセミナー	1	11月17日	20	13

(4) 後継者育成研修

No.	講座名	日数	開催月日	定員	受講者数
1	経営リーダー育成塾（第10期生）	26	6月5日 ～2月20日	20	20
2	経営リーダー育成塾OB研修①	1	8月21日	20	26
3	〃 ②	1	11月13日	20	12
4	後継者育成セミナー	1	11月24日	20	13
5	リーダー養成講座	2	5月21日 6月18日	30	23

(5) 中小企業事業継承講座

No.	講座名	日数	開催月日	定員	受講者数
1	BCP策定支援セミナー（策定編①）	1	4月24日	100	89
2	BCP策定支援セミナー（運用編）	1	10月26日	30	30

(6) 新春講演会（経済団体新春講演会実行委員会主催事業）

No.	講座名	日数	開催月日	定員	受講者数
1	経済団体新春講演会	1	1月26日	500	458

1.1 ものづくり中小企業技術者育成事業（県受託事業）

ものづくり技術者の育成確保のため、離職者または未就職卒業者を雇用して技術・技能を習得させる研修（OJT・Off-JT）を県内中小ものづくり企業に委託した。

業種	食料品	建設業	生産機器	電気機器	輸送用機器	業務機器	酒類	計
委託企業数	3	1	3	5	1	4	4	21
雇用人数	3	1	3	5	1	4	4	21

1.2 下請企業振興事業

(1) 受発注取引あっせん事業（県補助事業）

県内外の受発注企業の設備や加工技術等に関するデータベースを充実するとともに、個別の取引あっせんを行った。

① 受発注取引の登録企業数

発注企業	受注企業	計
1,594	2,831	4,425
(1,523)	(2,812)	(4,335)

(注) () 内の数は前年同期の実績である。

② 受発注取引あっせん件数

発注申込数	受注申込数	あっせん件数
199	372	1,191
(207)	(417)	(1,242)

(注) () 内の数は前年同期の実績である。

③ 受発注取引関係相談件数

発注相談	受注相談	経営相談等	計
564	517	391	1,472
(525)	(664)	(531)	(1,720)

(注) () 内の数は前年同期の実績である。

④ 専門員による発注開拓

- ・下請あっせんアドバイザー配置数 2名
- ・訪問企業数 695社（うち新規訪問99社）

(2) 情報提供事業

最新の受発注情報を収集・加工した「受発注ニュース」を県内中小企業に提供する。

ホームページ	情報誌「産業情報とちぎ」	メールマガジン
随時更新	3回（隔月発行）	月2回配信

(3) 展示・商談会の開催（県補助事業・県受託事業）

受注機会の確保・拡大のため、県内外で展示会・商談会を開催する。

	展示・商談会の名称	開催月日	開催場所	参加企業数		商談件数
				受注	発注	
1	ビジネスマッチング交流会（第1回）	6月11日	産業交流センター	7	1	7
2	ビジネスマッチング商談会	7月9日	ホテル東日本宇都宮	96	46	444
3	ビジネスマッチング交流会（第2回）	8月27日	産業交流センター	4	1	4
4	関東5県ビジネスマッチング商談会	9月1日	東京ビッグサイト	266 (51)	135 (3)	1,618 (267)
5	ものづくり企業マッチング事業（再掲）	9月9日	古河産機システムズ(株)	4	1	4
6	ビジネスマッチング交流会（第3回）	10月23日	産業交流センター	21	2	29
7	ものづくり企業展示・商談会 （足利銀行主催、センターは特別協力）	11月17日	マロニエプラザ	155	22	220
8	ビジネスマッチング交流会（第4回）	12月14日	産業交流センター	5	1	5
9	彩の国ビジネスアリーナ （埼玉県公社主催、センターは共催）	1月27、28日	さいたまアリーナ	8		
10	ビジネスマッチング交流会（第5回）	2月16日	産業交流センター	1	9	9

※下段は栃木県分の数値

(4) 中小企業動向調査

販路開拓・拡大の参考とするため、登録受注企業の景況等（平成27年4～6月期）についてアンケート調査を実施する。

①前期調査

○調査対象 登録企業 882社（発注企業 233社、受注企業 649社）

○回答状況 314社回答（回答率35.6%）

○調査時期 開始：平成27年7月21日、締切：平成27年8月10日

○調査結果の概要（前回調査（平成27年1月）との比較）

- ・経営状況は、依然として厳しい状況にはあるが、改善の兆候が見られる。
- ・受発注量は、業種によるバラつきがあるが、「増加の計」と「減少の計」にほとんど差はない。
- ・受注単価は、概ね横這いであるが、「低下の計」が「上昇の計」を大きく上回る。
- ・景気動向は、概ね横這いであり、「悪化傾向」が「回復傾向」を上回るものの、その差は縮小している。
- ・円安に関する影響は、若干の減少はあるものの依然6割以上の企業が「原材料費の増加」を挙げている。
- ・人員の過不足感は、約半数の企業が人員不足と感じている。

②後期調査

○調査対象 登録企業 882社（発注企業 228社、受注企業 654社）

○回答状況 291社回答（回答率33.0%）

○調査時期 開始：平成28年1月12日、締切：平成28年2月5日

○調査結果の概要（前回調査（平成27年7月）との比較）

- ・経営状況は、「悪いの計」が「良いの計」を上回り、前回からその差は一層拡大している。
- ・受注単価は、概ね横這いであるが、「低下の計」が「上昇の計」を上回る。
- ・景気動向は、概ね横這いであるが、「悪化傾向」が「回復傾向」を上回り、前回からその差は一層拡大している。
- ・平成 27 年に設備投資を実施した企業は、全体のおよそ 3 分の 2 にあたる。
- ・人員の過不足感は、前回同様、半数近くが人員不足と感じている。
- ・平成 27 年に賃金引上げを実施した企業は、全体の 8 割超に上る。

1.3 プロフェッショナル人材戦略拠点事業（県受託事業）

県内中小企業等に対する「攻めの経営」への転換を促進し、プロフェッショナル人材の活用を支援するための拠点運営等を行った。

○栃木県プロフェッショナル人材戦略拠点の設置

開設日 平成 27 年 12 月 1 日

場 所 とちぎ産業交流センター 320 号室

○プロフェッショナル人材戦略マネージャー等の配置

マネージャー 1 名、サブマネージャー 1 名、アシスタント 2 名

○相談実績

- ・経営者との（人材・経営等に関する）相談件数 13 件
- ・事業説明等を実施した企業等数 38 件

○地域版プロフェッショナル人材戦略協議会の開催

区 分	開催日	内 容
協議会設置に向けた説明会	11 月 30 日	・地域金融機関、市町、商工団体等を対象とした事業説明
協議会	2 月 17 日	・事業概要の説明、部会設置について ・人材紹介会社の仕組み、県の地方創生関連施策について
事業戦略検討部会	2 月 8 日	・外部有識者との意見交換
	3 月 9 日	・外部有識者との意見交換
	3 月 29 日	・外部有識者との意見交換

○セミナーの開催

区 分	開催日	参加者数	テーマ
開設記念講演会	12 月 16 日	106 名	・ものづくり日本大賞受賞企業に学ぶ攻めの経営 ・サイベックの歩みと変革に向けた覚悟と決断
金融機関向けセミナー	2 月 23 日	24 名	・プロフェッショナル人材戦略拠点の紹介 ・常陽銀行のものづくり企業支援の取り組み ・栃木県産業技術センター見学会

1.4 知的財産支援事業

(1) 特許等取得活用支援事業（国受託事業）

知財総合支援窓口を設置し、知財相談員等が中小企業の知的財産権に関する課題解決をワンストップで支援するとともに、アイデア段階から事業展開までの一貫した支援を行った。

○知財相談員配置数 4名(1名増)

○知財アドバイザー 4名(2名増)

○支援状況

① 利用者数

来 訪	訪 問	外部窓口 (商工会議所)	電話・メール等	計
582名(502名)	287名(294名)	108名(106名)	378名(285名)	1,355名(1,187名)

(注) () 内の数は前年度の実績である。

② 相談件数

	特 許	実用新案	意 匠	商 標	その他	計
センター窓口	583(504)	234(140)	210(169)	528(410)	177(202)	1,732(1,425)
1日知財相談窓口	53(46)	17(10)	12(13)	34(35)	7(3)	123(107)
弁理士・弁護士相 談会	35(33)	8(2)	20(7)	78(71)	20(11)	161(124)
計	671(583)	259(152)	242(189)	640(516)	204(216)	2,016(1,656)

(注) () 内の数は前年度の実績である。

③ 企業訪問による支援 139社(前年度実績 117社)

④ 知財アドバイザーによる新規掘り起こし企業 63社(前年度実績 24社)

⑤ 知財専門家派遣による支援 9件(前年度実績 5件)

(2) 知的財産マッチング支援事業(新規事業・県受託事業)

自治体知財コーディネーターが大手企業や研究機関、大学等が保有する開放特許等を収集し、中小企業の自社製品開発や高付加価値化に結び付けるため、マッチング交流会を開催した。

○自治体知財コーディネーター配置数 1名

○(公財)川崎市産業振興財団や川崎市の協力により当事業を実施した。当事業による中小企業の製品化・事業化を進めるために、地域金融機関や商工会議所、自治体等の関係機関を対象にした勉強会を開催した。

開催日時：平成27年7月15日(水)午後2時から4時

開催場所：栃木県庁・大会議室

テ ー マ：開放特許を使った中小企業のビジネス創出

講 師：富士通(株) ビジネス開発部長 吾妻 勝浩 氏

参 加 者：56名(内訳；金融機関32名、自治体9名、商工関連団体7名等)

○大手企業や研究機関・大学等より提供された開放特許を発表し、個別面談を行うビジネスマッチング交流会を2回開催した。

・第1回栃木県知的財産ビジネスマッチング交流会

開催日時：平成27年11月4日

開催場所：とちぎ産業交流センター2階会議室

講演内容：「川崎モデルの知的財産交流事業について」

講 師：(公財)川崎市産業振興財団 新事業・知的財産コーディネータ 宇崎勝氏

対 談：「大企業の特許を活用して新製品を開発した中小企業の体験談」

講 師：(公財)川崎市産業振興財団 新事業・知的財産コーディネータ 宇崎勝氏

森田テック株式会社 代表取締役社長 森田治氏

参加者数：60名（内訳：開放特許提供企業5名、企業31名、支援機関等24名）

・第2回栃木県知的財産ビジネスマッチング交流会

開催日時：平成28年3月1日（火）午後1時30分から午後4時30分

開催場所：とちぎ産業交流センター2階会議室

講演内容：「知財マッチング支援について～川崎モデルの事例～」

講師：（公財）川崎市産業振興財団 新事業・知的財産コーディネータ 西谷亨氏

参加者数：44名（内訳：開放特許提供機関15名、企業20名、支援機関9名）

○支援実績

開放特許 提供依頼	支援機関 訪問・来訪	中小企業 訪問・来訪
15件	20件	55件

(3) 特許等活用促進事業（県補助事業）

知財総合支援窓口の円滑な運営・管理を行った。

(4) 外国出願支援事業（国補助事業）

中小企業の優れた技術等を海外において広く活用するための産業財産権の外国出願に要する費用の一部を助成した。

○実績

種別	企業名	出願内容	出願先	助成額 (千円)
特許	(株)パウデック	半導体素子、電気機器、双方向電界効果トランジスタおよび実装構造体	米国、欧州、インド	1,414
特許	(株)パウデック	半導体素子、電気機器、双方向電界効果トランジスタおよび実装構造体	台湾	332
特許	応用電子工業(株)	羽根付き注射針	米国、欧州、中国、韓国、インド	1,500
特許	(株)田中電気研究所	低流速の排ガスでも測定可能な光散乱式ダスト濃度計並びにダスト濃度の測定方法	中国	362
商標	(株)田中電気研究所	tanaka electric laboratory	中国	68
商標	(株)壮関	株式会社壮関	タイ	171
計				3,847

事業区分	応募件数	採択件数	助成額(千円)
特許	5件(4件)	4件(3件)	3,608(4,464)
商標	2件(-)	2件(-)	239(-)
計	7件(4件)	6件(3件)	3,847(4,464)

(注) () 内の数は前年度の実績である。

1.5 海外ビジネス支援事業

県内中小企業の海外ビジネスへの取組を支援した。

(1) 外国出願支援事業(国補助事業)

前掲1.4 知的財産支援事業 (4) 外国出願支援事業(国補助事業) 参照。

(2) 海外ビジネス情報提供事業

ジェットロや中小企業基盤整備機構等から発信されるセミナーや展示会等の海外ビジネス支援情報を収集整理して、振興センターのホームページ等により情報提供を行った。

(3) 海外ビジネスセミナー開催事業

海外展開に関心を持つ県内中小企業を対象に、中小企業基盤整備機構等と連携を図り、現地情報や既展開企業の実例等に関するセミナーを開催した。

区 分	開催日	参加者数	内 容
第1回セミナー	10月19日	28	・中小製造業にとっての海外進出 ・公的支援機関の機能・事業等のご紹介
第2回セミナー	11月20日	32	・ASEAN経済統合の行方 ・ASEAN主要国の最新経済・投資情勢と進出時のポイント
第3回セミナー	12月9日	19	・中小製造業によるASEAN進出のリスクと対策 ・日系企業のASEAN進出動向と中小製造業のビジネスチャンス
第4回セミナー	1月21日	26	・インドネシアの最新経済・投資情勢と進出時のポイント ・インドネシア進出体験談
インドネシア投資環境 視察ミッション	2月22日 ～26日	8	・インドネシア現地の産業団地等視察 ・県内企業のインドネシア事業所等訪問

(4) 海外販路開拓助成事業【再掲】

海外で開催される展示会出展に要する経費の一部を助成し、海外での販路開拓を支援した。

No.	企業名	事業区分	事業名称	交付決定額(千円)
1	㈱さくら食品	販路開拓助成事業 (展示)【食品】	Japanese Foods "Premium" Trade Fair in Hong Kong への出展	1,480
2	㈱バンテック	販路開拓助成事業 (展示)【環境】	イタリアで開催される冷 凍空調関連の展示会への 出展及び販路開拓 Mostra Convegno Expocomfort 2016 (MCE)	1,500
3	㈱スズキプレシオン	販路開拓助成事業 (展示)【医療機器】	MD&M WEST (エムティイー ドゥエム ウェスト) 展示会出展	1,073
海外販路開拓助成事業 計			3件	4,053

(公3) 高度技術の開発及び利用の促進

1.6 産学官連携研究開発事業（国受託事業・国補助事業）

県内中小企業が実施するものづくり基盤技術 12 分野に関する研究開発を事業管理機関として支援した。

○継続実施

No.	テーマ（技術分野）	研究等実施機関	実施期間
1	電気鋳造技術を活用した電子・医療分野に向けた世界初の高精細フィルターの開発（めっき）	(株)オプトニクス 精密 他	平成 25～27 年度 (委託事業)
2	高機能多結晶ダイヤモンド工具の高生産性・低コスト化技術を支援するための大型焼結体製造技術と工具形状成型技術の開発（切削加工）	トーメイダイヤ (株) 他	平成 25～27 年度 (委託事業)
3	革新的軽量材料を用いた自動車用防振ゴムマウントの材料から鍛造までの一貫製造（精密加工）	宮本工業(株) 他	平成 26～28 年度 (補助事業)

○新規採択

No.	テーマ（技術分野）	研究等実施機関	実施期間
1	歯切工具の高性能化を目指したドライコーティング技術の開発（表面処理）	(株)アイ・シー・ エス 他	平成 27～29 年度 (補助事業)
2	均一分散を可能にする炭素添加技術を用いた高強度・高伸び率とコストを両立したAC2Aをベースとする鋼化アルミ合金の開発（複合・新機能材料）	(株)白金 他	平成 27～29 年度 (補助事業)

1.7 高度技術振興事業

(1) サポートユアビジネス事業（一部県・市町補助事業）

高度技術産学連携地域内にある中小企業の新技術・新製品開発に要する経費の一部を助成した。（宇都宮市・鹿沼市・日光市・真岡市・下野市・上三川町・芳賀町・壬生町・高根沢町）

○助成実績（審査会：5月22日、交付決定：6月5日）

No.	企業名 【共同研究者】	テーマ	助成額（千円）
1	(株)アイ・レック 【産業技術総合研究所】	屋上防水層内の脱気システムの屋根温熱環境に及ぼす影響に関する研究	758
2	江田特殊防水工業(株) 【小山工業高等専門学校】	赤外線サーモグラフィーを利用した漏水欠陥検出方法の新技術開発	1,237
3	こいしや食品(株)	当社独自の機能性食品「豆腐キューブ」（フリーズドライ食品類）をトッピング、浮き実等の素材として活用する”粉ドレ”タイプ製品を試作・開発する	1,450
4	(株)ソフトシーデーシー 【宇都宮大学】	自動追尾機能付きジンバルの開発による撮影機材市場の開拓	1,000
合計			4,445

1.8 地域技術起業化推進事業

(1) サポートユアビジネス事業（基金事業）

高度技術産学連携地域外の中小企業の新技术・新製品開発に要する経費の一部を助成した。

○助成実績（審査会：5月22日、交付決定：6月5日）

No.	企業名	テーマ	助成額（千円）
1	(株)Asazuma コーポレーション	安全性・利便性を兼ね備えた足場シート 固定具の商品開発	913
2	(株)井上製作所	パイプカッター用治具と切り刃の開発	488
計			1,401

(2) 支援制度活用・産学連携支援事業

国等の補助金獲得に向けた個別相談及び支援制度の説明会の開催等により、県内中小企業の経営革新を支援した。

○産業振興センター・会場大学・産学官連携サテライトオフィス・とちぎ産業振興ネットワーク推進会議 技術開発支援部会・とちぎ産業交流センター共催

No.	支援制度説明会等の名称	開催月日	会場	出席者数
1	支援制度活用・産学交流セミナー (県央会場)	11月12日	宇都宮大学	52
2	支援制度活用・産学交流セミナー (県北会場)	11月19日	国際医療福祉大学	25
3	支援制度活用・産学交流セミナー (県南会場)	12月3日	足利工業大学	48

○産業振興センター・栃木県共催

No.	支援制度説明等の名称	開催月日	会場	出席者数
1	新技术・新製品開発や新事業展開等に関する国・県・産業振興センターの支援制度説明会	2月18日	産業技術センター	153

○国ものづくり補助金に関する個別相談会等（31回）において、計123社からの相談に対応した。（相談会等主催者：県工業振興課、大田原商工会議所、佐野商工会議所、足利銀行、栃木銀行、栃木信用金庫、東和銀行）

○補助金等施策説明会等（6回）において、センターの支援策や、国等の補助金等支援策活用に向けた説明を、計250余名の出席者に対して行った。（説明会等主催者：鹿沼商工会議所、大田原商工会議所、栃木県商工会連合会）

1.9 世界一を目指す研究開発助成事業（基金事業）

ものづくり産業の振興と人材育成を図るため、県内の若手研究者が行う「小さくとも世界一の技術等の開発を目指す研究」を支援した。

○採択状況（審査会：6月9日、交付決定：6月29日）

No.	交付の相手方	代表研究者及び研究開発テーマ	助成額（千円）
1	小山工業高等専門学校	加藤 岳仁（講師）「超高効率有機無機ハイブリッド太陽電池シートの開発」	1,000
2	小山工業高等専門学校	加島 敬太（助教）「食品に含まれる高機能成分をワン・ストップの着想で分離精製する膜分離プロセスの革新」	1,000

II 収益事業等

（他1）小規模企業者等設備導入資金事業等の未収債権回収事業

20 小規模企業者等設備導入資金事業

小規模企業者等の設備導入に対する設備資金の貸付及び設備の貸与（割賦・リース）事業（平成23年度以降休止中）に係る債権管理業務を行った。

○資金利用企業への対応

事後指導	利用状況調査	債権管理
39件	41件（年1回）	随時

○債権の状況

<通常債権>

資金区分	平成27年度期首		平成27年度末	
	件数	残高（円）	件数	残高（円）
設備資金貸付	30	97,858,000	19	39,989,000
設備貸与（割賦）	0	0	0	0
〃（リース）	21	83,535,500	14	36,740,100
計	51	181,393,500	33	76,729,100

<延滞債権>

資金区分	平成27年度期首		平成27年度末	
	件数	残高（円）	件数	残高（円）
設備資金貸付	0	0	1	11,418,000
設備貸与（割賦）	1	9,121,408	1	7,183,108
〃（リース）	3	49,251,980	5	59,313,280
計	4	58,373,388	7	77,914,388

(他2) 産業情報の収集、提供事業（機関情報誌発行）

2.1 センター会員管理事業

センター会員を対象に、経営情報の提供事業を行った。

○会員数の状況

区 分	平成 27 年度期首	新規加入	脱 退	平成 27 年度期末
正 会 員	360	10	5	365
賛助会員	76	0	0	76
	436	10	5	441

○経営情報の提供

産業情報とちぎ	メールマガジン	視聴覚教材の貸出
6 回（隔月発行）	35 回（月 2 回発信）	5 件（随時）

○とちぎ産業創造プラザのつどい

- ・開催月日 平成 27 年 8 月 17 日（月）～ 22 日（土）
- ・場 所 とちぎ産業創造プラザ
- ・来場者数 811 名（延べ）
- ・「野菜でダイエット!乳酸菌できれいになろう」等各種講演会をはじめ、親子紙工作教室
各種体験、施設・機器見学会等を実施した。

III 庶務事項

1 役員の内任

月 日	内 容
4 月 1 日	役員（理事長）に次のとおり就任した。 理 事 柳 道夫（公財）栃木県産業振興センター理事（新任）
5 月 11 日	評議員に次のとおり就任した。 評議員 池田 幸 宇都宮大学 理事（新任）
6 月 26 日	評議員に次のとおり就任した。 評議員 渡邊 秀夫 栃木県中小企業団体中央会 会長（新任） 評議員 和南城憲一 ㈱栃木銀行 常務取締役（新任）
9 月 11 日	評議員に次のとおり就任した。 評議員 小黒 幸市（公社）日本技術士会栃木県支部長（新任） 役員に次のとおり就任した。 監 事 佐藤 直司 ㈱商工組合中央金庫宇都宮支店長（新任）

2 会議の開催

月 日	会議の名称	内 容
4月1日	第1回理事会（書面）	理事長の選定
4月20日	第2回理事会（書面）	評議員会の開催
5月11日	第1回評議員会（書面）	評議員の選任
6月3日	第3回理事会	平成26年度事業報告及び平成26年度収支決算報告、平成27年度借入最高限度額及び償還方法、評議員会の開催
6月26日	第2回評議員会	評議員の選任、平成26年度事業報告及び平成26年度収支決算報告、平成27年度借入最高限度額及び償還方法
9月4日	第4回理事会（書面）	評議員会の開催
9月11日	第3回評議員会（書面）	評議員の選任、監事の選任
10月29日	第5回理事会	評議員会の開催、平成27年度事業及び予算の執行状況
11月17日	第4回評議員会	平成27年度事業及び予算の執行状況、プロフェッショナル人材戦略拠点事業
11月19日	第6回理事会（書面）	平成27年度事業計画の変更、平成27年度収支予算の補正
3月8日	第7回理事会	平成27年度収支予算の補正、組織規程の改正、平成28年度事業計画、平成28年度収入支出予算、評議員会の開催、情報化基盤整備促進事業及び地域技術起業化推進事業の廃止並びに情報化基盤整備基金及び地域産業活性化基金の返還
3月23日	第5回評議員会	理事の選任、平成27年度収支予算の補正、組織規程の改正、平成28年度事業計画、平成28年度収入支出予算、情報化基盤整備促進事業及び地域技術起業化推進事業の廃止並びに情報化基盤整備基金及び地域産業活性化基金の返還